



冬の星雲・星団を見よう
月のある日はスマホで月撮影も！



星空観察会のご案内

本日は国民宿舎小豆島をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当館では、本日午後7時00分から午後8時00分頃まで、本館3階屋上において、移動用としては大型の天体望遠鏡を使った星空観察会を開催します。

冬は数多くの一等星がキラキラ輝き、肉眼では最も星が美しく見える季節です。天体望遠鏡ではすばる・プレアデス星団をはじめ、ペルセウス二重星団やオリオン大星雲など、冬のかすかな天の川を中心に数多くの星雲・星団や二重星を見ることが出来ます。

月が出ている夜は月もご覧いただけますが、双眼装置を使って両目で見る月のクレーターや山脈は大迫力で眼前に迫ってきます。上弦(半月)前から満月の間は、スマホ限定とさせていただきますが、クレーターもはっきり写る写真を撮るサービスも行っていますし、運が良ければ流れ星も見られるかも？大勢の方のご参加をお待ちしております。

ご覧いただく予定の天体

星雲・星団

星雲には私たちの銀河系と同じく数百億～数千億の星の集まりである系外銀河と、ガスが星の光によって照らされている散光星雲、星が爆発した後の姿である惑星状星雲の3種類があります。それぞれ大変淡い光であり、光を蓄積した天体写真とは比べるべくもありませんが、数千光年(1光年は約10兆キロ)から遠いものは数千万光年先にある天体を直接肉眼で見ることにはまた別の趣があります。

今回は、無数の星が見えるペルセウス座二重星団やすばる・プレアデス星団や今星が生まれている姿であるオリオン大星雲などをご覧いただく予定です。ぎょしゃ座の三者三様の散会星団 M36、37、38 などの散開星団は、暗闇に目を十分慣らしてから見ると、まるで万華鏡のように無数の星が瞬くのが見え、宇宙の神秘を感じさせてくれます。小豆島の星空をぜひお持ち帰りください。

